

社民・民主・護憲クラブ 学習会

悩む この国の子ども・若者の問題

ひきこもりの現状・課題

～ 親として 支援者としてできることは ～

講師 **吉村 文恵さん**
(NPO)全国ひきこもりKHJ親の会「福岡楠の会」事務局長

大住 信子さん
福岡市ひきこもり成年地域支援センター 相談員

内容 ひきこもりの現状
親の会「福岡楠の会」の取り組み
支援の仕組み・制度
今後の課題、安心して生きる未来を求めて

とき 10月20日(日)午後2時 開演～午後4時頃終了
(開場：午後1時30分)

ところ 「えるる」(市民活動等多目的交流施設)2階研修室
(大牟田市新栄町6-1 0944-52-5285)

参加費 無料

主催 大牟田市議会社民・民主・護憲クラブ
後援 大牟田市政研究会 大橋克己事務所 大牟田市職労
福岡県教職員組合・退職教職員協議会大牟田支部

連絡先 0944-51-7010
090-2517-4005(古庄)
090-9077-0226(平山)

駐車場が限られています。なるべく公共交通をご利用下さい。



大牟田市議会 社民・民主・護憲クラブ

あなたの声を市政に届けます

クラブニュース

2013年10月号

〒836-8666
福岡県大牟田市有明町2-3
大牟田市議会事務局内
TEL/FAX 0944-51-7010
Mail:goken@sea.ariakenet.com

市立学校へのエアコン設置を議会の総意で市長へ要望!

9月議会の質疑・質問や24年度の決算審査が終わりました。

今議会中には、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口等」の政府推薦の決定と、ホークスのファーム本拠地誘致の一次審査での落選という、両極端の話題がありました。

小・中学校の教室へのエアコン設置についての答弁は、「エアコン整備の必要性は認識しているが、次期総合計画の中で、検討していく。」また、市長は「本当に必要なかどうか、私自身は、まだ自信を持ってやったほうがいいのではないかということは、ちょっと今の段階では考えておりません」との答弁で、市長の認識と、総合計画に盛り込まれなければ実施できないとの見解には納得がいきませんでした。



決算特別委員会で、普通教室のエアコン設置に向け、議会全体の総意として、「市長部局ともしっかりと検討を行い早急な設置に向け努力されたい。また、有利な国の交付金等が示されればすぐに対応出来るよう常に計画策定の準備を図られたい。」と集約し、市長に回答を求めようしました。

市民から出された意見を、議会全体として受けとめ、行政に反映させるシステムが構築されつつあります。

これからも難題が山積していますが、私たち護憲クラブ5名は、野田参議、大橋県議と力を合わせて、市民の声を国政・県政・市政に届けるために、今後とも努力してまいります。

2013年10月 社民・民主・護憲クラブ

決算特別委員会で 充実や検討を求めました

社民・民主・護憲クラブが指摘・要望したまちづくりプラン推進事業のエピソード集の作成については、人々の思いや出来事を後世に語り継いでいくことで、我が町の歴史を再認識し愛着と誇りを持つことにつながる事業であり、炭鉱の負の遺産といわれる側面も含め、関係者の証言をさらに集め充実に努められたい。生活保護自立支援の学習支援事業については、貧困の連鎖を立つという視点からも重要であり、拠点増や利用者の拡大を図る等さらなる事業の拡大に努められたい。

学童保育所養護児保育のための指導員の加配については実情に合わせて基準を超えての配置も出来るよう検討されたい。

学童保育所未設置校区の他の学童への送迎に

主な項目

については、課題等を整理し、今後しっかりした対応ができるよう検討されたい。

障害福祉サービスは、それまでの潜在的なニーズが顕在化している途中の時期。支援者の雇用の場も増え、まちづくりの視点からも必要な政策の1つ。法律が改正され、相談事業も強化する必要がある。新年度の予算編成では、このような総合的な視点を持って望まれたい。

「えるる」の設計には多目的トイレなどバリアフリーの観点に不足する。公共施設ごとにバリアフリーの水準に違いがないよう、新築、改築のとき、様々な立場の市民のご意見を十分に反映できるような「大牟田市公共施設バリアフリー検討委員会」を早急に立ち上げられたい。

9月議会のご報告

期間：9月3日（月）～27日（金）

質問戦は、ホークスファーム誘致、介護保険、子ども子育て、教育問題など多岐にわたる

ホークスファーム誘致を含め、11名の議員が質問。詳しくは議会報8月1日号をご覧ください
平成24年度決算も全会一致で認定

【一般会計】

収入：542億円

支出：527億円

収入 - 支出 = 15億円（ - ）

には次の年度に使うお金、8500万円を含む。

実質的な収支は、 - = 14億円の累積黒字

<黒字になった理由>

- 1、住民サービスのカット、軽自動車税をはじめとした住民負担の増加等、市民の皆さんのご協力
- 2、職員給与カットなど市の努力
- 3、民主党政権下の地方交付税の大幅アップ

<これからの見通し>

次の理由で簡単には黒字は続きません！

- 1、自公政権に戻り、地方交付税は削減されると予想されます。
- 2、高齢化が進み、さまざまな分野の住民サービスのニーズが増えてきます。

可決された主な条例

- 税や介護保険料などを来年度からコンビニ振り込みできるようにするもの
- 文化芸術振興審議会、スポーツ推進審議会のメンバーを変更する条例
- 市長の冬のボーナス10%カット

可決された補正予算

- ・近代化産業遺産推進費 978万円
- ・防犯灯街路灯設置費（+100基分）150万円
- ・保育士等処遇改善臨時特例事業費 4923万円
- ・快適住マイル改修事業費補助（追加）500万円
- ・地域企業支援（三井アルミ）750万円



【代表質問】松尾哲也議員【一問一答方式】

近隣の自治体で小・中学校のエアコン設置が進む中で、大牟田市でも早急な設置を

1、市長の政治姿勢について

(1)三池港の活用と地域の活性化

問 コンテナ取り扱い貨物量は20,000TEUを超えようとしているが、三池港7番バースのコンテナ置き場や、夜間の入出港の対策をどうするのか。

答 専門委員会の開催のお願いや、背後圏の整備については、港湾管理者である福岡県に働きかけていく。

(2)企業誘致の推進

問 テクノパークの残り1区画の企業誘致や野添・臼井社宅跡地の活用はどうか。

答 テクノパークについては、早い時期の誘致に全力をあげたい。また、野添・臼井社宅跡は具体的な開発までにはいたっていない。

(3)「えるる」の完成と人に

やさしい公共施設の考え方

問 「えるる」が完成したが、様々な指摘・要望が出ているが、どう対応するのか。

答 手直しするところがあれば、検討したい。

2、市立小・中学校の環境整備について

(1)小・中学校のエアコン設置

問 近年にない猛暑が続いた中で、子ども達は勉学に励んでいる。近隣自治体のみやま市、八女市、久留米市などではエアコン設置の工事が進んでいる。進捗状況を聞きたい。

答 必要性は認識しているが、大牟田市は校舎の耐震補強工事を進めている。次期、マスタープラン(2016～2015)中で検討したい。

要望 他の自治体は、国の地域元気交付金などを活用している。次期マスタープラン作成の前に有利な財源を見つけて、対応されたい。

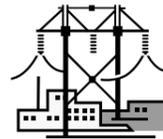
3、子ども・子育てについて

(1)子ども・子育て支援新制度

問 新制度についての取り組みと地方版子ども・子育て会議の進捗状況は。

答 地方版子ども・子育て会議は、次世代育成支援市民協議会で対応している。

要望 幅広い意見を聞くために、構成メンバーの拡大を。



問 子ども・子育て支援事業計画を策定するようになっているがどうなっているか。

答 鋭意、検討している。

問 現在の児童家庭課の体制では不十分。保健福祉部と教育委員会の密接な関係が必要だと思うが。

答 全庁的な取り組みだと認識して取り組む。

要望 保健福祉部と教育委員会とで担当課の設置を。

(2)保育士等処遇改善臨時特例交付金

問 今回の補正予算で、保育士等処遇改善臨時特例交付金4,923万円が上程されているが、26年度以降の取り組みは。

答 25年度単独事業と認識している。

要望 26年度以降も、保育士の処遇改善のために、市単独でも継続して取り組まれない。

4、50年を迎えた三池炭鉱

三川炭じん爆発事故について

(1)慰霊碑の建立

問 炭じん爆発事故から50年、三川炭跡に事故の犠牲者の名前を刻んだ慰霊碑の建立を。

答 審議会やみんなの会議で三川坑跡の活用策を考えていく中で、市としてどのような対応ができるのか検討していきたい。

(2)CO(一酸化炭素)中毒患者と大牟田吉野病院

問 患者や大牟田吉野病院は厳しい状況である。2006年の確認書の履行や今後の対応は。

答 これまでも、国への要望やシンポジウムで後援等の支援をしている。

要望 50年を契機として、国に対する要望活動の強化を。

(3)追悼集会の企画

問 50年を迎えるにあたり、犠牲者のご冥福と患者の一日も早いご回復、何よりも事故を風化させないために、「三池炭鉱三川炭じん爆発事故から50年を迎えて」の追悼集会の企画を。

答 追悼集会等が行われた場合には検討したい。

要望 先人たちの労苦・偉業にも報いるためにも、市として企画をお願いしたい。



【一般質問】平嶋慶二議員(再質からの一問一答)

(1)10年後を見据えたまちづくりを考えているのか

問 本市の人口は毎年1400人～1500人の人口減が生じていく。10年後は「荒尾市」や「みやま市」よりちょっと大きい「市」程度になる10年後を見据えたまちづくりについて市長はどう考えている。

答 人口問題研究所によると日本の人口は1億2000万人から50年後は8000万人になるとある。どこも人口減は避けられない。少子化・高齢化・雇用など本市の課題や社会・市民のニーズを把握しながら、本年度から次の総合計画の策定を進めることにしている。

(2)若者の雇用の創出について道筋を示せ

問 若者の雇用の場の創出についてまた、今日、ブラック企業なるものが若者を襲っている。許せない。市は若者の場の創出にどのような方向を示すか。

答 大牟田市雇用問題協議会において情報の共有化を図り、目的内容に沿って関係機関と密接な連携を取りながら若者の雇用を取り組んでいきたい。

(3)ため池の安全性について

問 市内に点在する「ため池」は今日の「気象状況」(集中豪雨)など考えると「危険箇所」ではないか。また、池の「下流域」には住宅が増えている早急な「調査を」取り組んでいくべきと思うが

答 市内に136ヶ所ある。国、県も一斉調査点検が通知されました。本市としてはこの一斉点検の結果を踏まえ、施設の適正な維持管理に努めていきたい。

(4)水道の一元化について

問 旧三池炭鉱の補償水打ち切りの話し合いの現状は。また、水道一元化の進捗状況は。一元化後の対策はどのように考えているのか伺う。日本コークスへの不満は根強い。コークスへ市民の声として伝えてほしい(強く要望する)

答 9月6日時点で2,023軒の内1,706軒で84.3%との進捗率である。水圧などでの事故については市で補償する。(3ヶ月の猶予期間)

(5)市住建て替えの考え方と跡地利用は

問 現高泉団地・近辺団地を取り壊し高泉に集約と聞くが基本的考え方・スケジュールはどうなる。また、この間、我々(護憲)が要望してきたことは取り入れられているか。

答 老朽化で建て替える。高齢者・障害者に配慮したバリアフリーや子育て世帯も視野に入れた福祉施設も整備する。

